

——編集室より

* 4号はこれまでの『臨床倫理学』とはやや趣きを異にする特集「臨床研究の倫理」を組ませて頂きました。巻頭言にもありますように、本特集の中心は、本年度2月4日に開催されたシンポジウム「臨床研究の倫理 被験者保護システムの展望」の講演記録から構成されています。報告者およびコメンテーターをお願いした先生方には、お忙しいなか、当日熱のこもったご報告を頂いたうえ、その後も編集作業に積極的にご協力頂き、まことにありがとうございました。それにも拘らず本号の公刊が大幅に遅れましたこと、深くお詫び申し上げます。

* なお、本シンポジウムに参加されたジャーナリスト鳥集徹氏が、シンポジウムで討議された金沢大学医学部無断臨床試験訴訟に関してその後精力的に取材を続けられ、本年度4月号の『論座』にご寄稿されています（「撤回された『意見書』 金沢大学病院『同意なき臨床試験』裁判」）。ご関心のある方は併せてご覧ください。

* 本プロジェクトでは、来年度以降も精力的に研究倫理に関する取組みを進めていきたいと考えています。このテーマに関してご協力頂ける方、また『臨床倫理学』に投稿をご希望の方は下記までご連絡ください。(T)

* やっと第4号の刊行にこぎつけました。田代志門氏にはシンポジウムの企画に続いて、その報告特集となる本号の編集をお願いし、同氏は実に精力的にその仕事を遂行してくれたのです。その足をひっぱり、刊行をここまで遅れさせた張本人は、第4号の「編集室より」で「次号はぜひとも2004年度内に刊行したく思ってます」と書いた私でした。田代君、ごめん！

* 『臨床倫理学』第5号は（「またできないことを書くのか」と言われそうですが）ぜひ半年以内に刊行したいと思ってます。特集は「臨床倫理ベーシック」で、2006年春からはじめた研修会の内容をまとめたのです。このテーマに限るわけではないですが、事例検討などの投稿を期待してます。皆さま、どうぞよろしく。(し)

臨床倫理学 4

2006年11月30日発行

編集・発行—— プロジェクト研究《医療システムと倫理》
+ 東北大学21世紀COE《CRESCENDO》臨床研究の倫理グループ

代表：清水 哲郎 Email: shimizu@sal.tohoku.ac.jp

事務局：東北大学大学院文学研究科哲学研究室内 980-8576 仙台市青葉区川内 27-1

Tel: 022-795-6031 / Fax: 022-795-6012

URL: <http://www.sal.tohoku.ac.jp/phil/CESDP/index.html>

URL: <http://www.sal.tohoku.ac.jp/philosophy/MedSys/index-j.html>

印刷・製本—— プリントコープ KOPAS 仙台市青葉区木町通 2-5-19
